

hap·py

→ go

→ luck·y

【ハッピー・ゴー・ラッキー】

形 〈人の行動が〉のんきな、気楽な。

名 10代におくるブックガイド。

はぴ

25

号

2014年7月発行

【編集】はぴ編集委員会

【発行】さいたま市立中央図書館

浦和区東高砂町 11-1

TEL 048-871-2100

FAX 048-884-5500

<http://www.lib.city.saitama.jp/>

携帯電話用



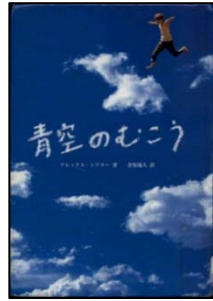
青  
ヲ

読  
ム



### 『青空のむこう』

アレックス・シアラー 作 かねはら みずひと 金原 瑞人 訳 求龍堂 2002年



交通事故で突然死んでしまった少年ハリーは、  
〈死者の国〉へたどりついた。ハリーは死の直前に、お姉ちゃんと  
けんかをしたまま別れてしまったことをずっと後悔していた。  
もう一度家族や友だちに会いたい。お姉ちゃんに謝りたい…。  
やり残したことがある限り、地平線の先にあるという  
〈彼方の青い世界〉へは行くことができない。  
ハリーは決心した。  
友だちになったアーサーとふたりで駆け出した。  
〈生者の国〉を目指して。



### 『百まいのドレス』

エレナー・エステイス 作 いしい ももこ 石井 桃子 訳 岩波書店 2006年



ワンダが着ているのは、毎日同じしわだらけの青いワンピース。  
それなのに「あたし、うちに、ドレス百まい、持ってるの。」といつも言います。  
そんなワンダをからかう「百まいのドレスごっこ」を  
ある明るい青く晴れた日、クラスメイトのペギーがはじめました。  
ペギーの親友・マデラインは、それが嫌でしたが、  
止める勇気はありませんでした。やがて学校に来なくなったワンダ。  
そんな中、デザイン・コンクールの受賞者発表の日がやってきました…。  
少女たちの揺れ動く心が丁寧に描かれています。

### 『サムライブルーの料理人』

サッカー日本代表専属シェフの戦い』

にし よしてる 西 芳照 作 白水社 2011年



サムライブルーの「二十四番目の選手」として、  
厨房というピッチで戦う日本代表専属シェフ・西芳照さん。  
目の前で調理し、できたてのほかほかか食べられる「ライブクッキング」の導入、  
おいしいごはんを食べてほしくて自腹で購入した圧力釜、  
ラーメンや焼きそばといった「なごみのメニュー」等々。  
どんな遠征先にも同行しその腕を振った著者が、  
2010年ワールドカップまでの自身の経験と工夫を語る。  
巻末には、日本代表の胃袋をつかんだ西流最強レシピも収録。  
選手たちとの絆や、西さんの料理人としての哲学に心動かされる。

### 『とある飛空士への追憶』

いぬむら ころく 犬村 小六 作 ひくうし ついおく ガガガ文庫 2008年



レヴァーム皇国の傭兵飛空士・シャルルは、  
その腕を買われ、ある重大な任務を託される。  
それは、次期皇妃となる少女・ファナを水上偵察機の後席に乗せ、  
単機で敵国戦闘機群中を翔破する、というものだった。  
敵機の圧倒的な攻撃をかいぐりながら、1万2千キロを翔ける、  
たった二人の危険な旅が始まる。  
やがて次期皇妃と流れ者の傭兵という身分の違いを越え、  
二人は互いに惹かれ合うことになるが…。  
青い、青い夏の空と洋上を舞台に描かれる、恋と空戦の物語。

### 『島の名前 日本編』

なかむら つねお 中村 庸夫 作 東京書籍 2005年



日本には、大小合わせて6800超もの島がある。  
自然豊かな島から人工島まで、  
日本全国さまざまな島の名前の由来がまとめられた一冊。  
見どころは、空と海の青が美しい数々の写真。  
東西南北の景色を比べるもよし、  
チトモシリ島(北海道)、ウ離島(沖縄県)など、  
地域による名前の響きの違いを楽しむのもよし。  
島名からその島の歴史に想像を巡らせるのも楽しいだろう。  
島の名前を巡る旅に、さあ出発！

### 『ギャザリング・ブルー 青を蒐める者』

ロイス・ローリー 作 しまづ 島津 やよい 訳 新評論 2013年



キラは脚の不自由な女の子。  
突然の病で母親を失い孤児になり、村から追い出されそうになったが、  
村の〈守護者〉たちによって救われる。  
彼らは、キラに住む場所を与える代わりに、  
得意の刺繍を生かした重要な仕事を彼女に与えた。  
それは人間の歴史を物語る〈歌手〉のガウンの修復だった。  
そのために必要な青の染料を探す中でキラは、  
猟の最中に亡くなったとされる父親についてある重大な真実を知る。  
そして、この村の辛い現実を知る…。『ギヴァー』の続編。



## 『藍染の絵本』

やまざき かずき  
山崎 和樹 編  
じょうゆめ  
城芽 ハヤト 絵

農山漁村文化協会 2008年

この本では3つの藍染の方法を紹介しています。液体の色は緑や紫なのに、布を<sup>ひた</sup>して乾かすとき綺麗な青色に変わるのがとても不思議。まずは一番かんたん、<sup>なまは</sup>生葉染めに挑戦してみましょ！

## 「青は藍より出でて藍より青し」

藍で染める青色は、藍の葉よりも美しい青になるということから、先生よりも出世したり、優秀な人に育つことをたとえた<sup>じゅんし</sup>荀子の言葉です。

空、海、ワールドカップ日本代表…今号の「はぴ」は、さまざまな「青」に関する本を7冊紹介しました。

あなたはどんな素敵な「青」をめざしますか？

## 「ビブリオバトル はぴの陣」 開催決定！

8月22日（金）に中央図書館で開催！詳しくはチラシまたは図書館ホームページで！

次回  
予告

はぴ26号（10月発行）のテーマは「時」

このブックガイドは2,000部作成し、1部あたりの作成費用は3円（概算）です。



## ジャパン・フルーに 染めてみよう

かめのぞき あさぎ はなだ  
瓶覗、浅葱、縹、紺……これらはみな、藍の草を使って染められた青い色の名前です。

古代エジプトのミイラを包む布から現代のジーンズまで、藍はさまざまな青色を生み出してきました。

